

# 橋本高等学校

実施日時 令和2年11月5日(木) 3限、4限

参加者 生徒196名、教職員14名 計210名

実施内容 応急手当訓練、マイトイレ作成、パーティション設営

## ねらい

本校では毎年1年生を対象として防災スクールを実施している。例年であれば地域住民とのつながりや交流を深めるため、全校生徒を対象とした避難訓練を午前中に実施し、地域の方々とともに消防署員から毛布を用いた救急搬送、市役所の職員からは避難場所や備蓄品などについて講義をうけ、午後に防災スクールを行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の方々を呼ばず避難訓練、防災スクール共に午前中に行った。

防災スクールの実施内容については、本校が地域の避難場所になっていることや阪神淡路大震災・東日本大震災の教訓から、マイトイレ作り、三角巾による応急手当、パーティション組立を行った。アルファ化米の炊き出し配膳については実施せず、1人1袋を配布し家庭で実施してもらうこととした。

1クラスについて10名1班とし、学年で20班を編成し(各クラス4班)班ごとにマイトイレ作り、応急手当、パーティション組立の責任者を決め、事前に担当生徒に講習会を実施した。

## 主なプログラム

- 1、マイトイレ作成・簡易担架作成
- 2、三角巾による応急手当
- 3、パーティション組み立て
- 4、アルファ化米の配布

## 概要

各クラス大きく2班に分け、体育館の前方ではマイトイレ作り、三角巾による応急手当を、後方ではパーティションの組み立てを行った(各50分程度)。また、前方ではさらに2班に分けてマイトイレ作りと応急手当を25分ずつ行い、全員が全工程を行えるようにした。

すべての行程終了後、感想を書かせた。

### 1、マイトイレ作り・簡易担架作成

新聞紙を用いてマイトイレの作成を行った。事前に担当者を集めて作成方法を指導したうえ、当日は担当者から班のメンバーに教える形で実施した。また、毛布を用いて簡易担架の作成をクラスごとに行い、実際に班員の一人を運ぶことでひと一人の重さを体感した。

### 2、三角巾による応急手当

三角巾を用いた全巾固定帯法、たたみ三角巾固定包帯法、たたみ三角巾の作り方などを実習した。スムーズな運営を図るため、事前に担当者を集めて各方法について説明したうえ、当日は担当者から班のメンバーに教え合う形で実施した。

### 3、パーティション組み立て

さらに小グループに分かれてパーティションの組み立てを班員で協力して行った。慣れてきたころにテーマを与え、いくつかのグループで協力して大きな間仕切りを作らせた。

## 参加者感想文

・僕は今回の防災スクールでいろいろな知識を得ることができました。例えば、トイレの作り方や、毛布で人を運ぶ方法を教えてもらいました。これらのことを災害が起きたときに活かしていきたいと思います。

まず最初に、僕たちの班はトイレの作り方を教えてもらいました。僕はトイレが新聞紙2枚で作れることを知って驚きました。次に、人を毛布で運ぶ方法を教えてもらいました。もし人が倒れて、その近くに担架が無くても、毛布があった場合は毛布の端を3回折ると、六人で持ち上げることができます。僕は実際に体験しました。自分が思っていたよりもしっかりしていて安全に運ぶことができました。

そのあと、腕を骨折したり、けがをしたときの対処法を教えてもらいました。腕を支えることは簡単にできましたが、たたむ方法と足を固定する方法に苦労しました。

最後に、段ボールで家を作りました。実はダンボールは風を通さないので、段ボールの中に入っているだけで暖かいので、災害が起きたとき一番使える道具は段ボールかもしれません。

僕は、これらのことを教えてもらって、道具の有効活用や備え、災害の恐ろしさを改めて知ることができました。これからも、いつ災害が起きてもいいように備えていきたいです。

・今までも、防災についてはたくさん勉強してきました。今回やったこと、聞いたとは今までより内容が濃く、すごくためになりました。

南海トラフ大地震が30年以内に70~80%の確率で来ることも、多大な被害が出ることも知っていました。しかし、多大な被害が出るといっても具体的にどんな被害が出るかはちゃんと理解していませんでした。東日本大震災の死者数でもすごく多いと思っていたのに、その何倍もの死者が

出ると知って、一気に危機感を感じました。

橋本市の予想震度は6強でかなり強いです。棚の固定や食料、飲料の備蓄は今すぐにでも出来るので、ちゃんと備えておこうと思います。「備えあればうれいなし」というように、備えすぎていて損することはないと思います。

避難については毎年、地域で防災訓練をしているので、あせらずにいつも通り行えば出来ると思います。しかし、家族ともう一度確認しておこうと思いました。もし、地震が起きたらどれだけ周りの人と協力できるかが大切だと思いました。

応急処置や簡易トイレ、パーティションの作り方を学んで、自分にはまだ知らないこと、できないことがたくさんあるとわかりました。今回学んだことは忘れないようにして、本当に地震が起きたときに焦らず実践できるようにしたいです（実践したくないけど・・・）。

もし地震が起きたら不安な気持ちになると思います。しかし、その中でもみんなのことを支えられるようになりたいです。

## 成果と課題

### 【成果】

生徒たちはみんな協力しながら各訓練に取り組んでいた。多くの生徒が災害時に活かせる良い体験ができた后感想文に書いており、今後万が一災害が起きた時に地域の方々を助け支えることのできる若者になってくれると感じている。

### 【課題】

感染症対策のため例年より小規模実施ではあったが、三角巾などでは生徒同士で接触しないとできない内容であったため、そのあたりの対応をとる必要がある。万が一、コロナ禍が続いている中で実際に震災が起きてしまった場合は、いかに感染症対策を取りながら防災スクールで学んだことを活かしていくかを考えさせていくことが課題である。

マイトイレ作成



応急手当



パーティション

